

臨床研究「がん治療施設における妊孕性温存がん治療 がん・生殖医療連携に関する実態調査」
について

筑波大学附属病院産婦人科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

本研究は、思春期および若年成人世代である AYA 世代に着目し、がん治療施設の AYA 世代に着目し、がん治療施設の AYA 世代がん患者における妊孕性温存がん治療、がん・生殖医療連携に関する実態調査を具体的に行い、我が国における妊孕性温存がん治療、がん・生殖医療連携の実態を明らかにすることを目的とします。

② 研究対象者

筑波大学附属病院で 2009 年 1 月から 2013 年 12 月までの間に手術が行われた AYA 世代（15-39 歳）の性索間質性腫瘍、胚細胞性腫瘍に対し妊孕性温存を目的とした治療を施行された患者さんを対象とします。

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2020 年 3 月 31 日まで

④ 研究の方法

患者さんの診療録から卵巣腫瘍の大きさ、部位、検査地、治療の内容、治療後の妊娠の状況に関するデータを抽出します。

診療情報を抽出します。

⑤ 情報の第三者への提供について

抽出した情報は USB 媒体に記録して、聖マリアンナ医大に郵送されます。その際情報から名前や生年月日など個人情報を特定するものは省いた状態で提出します。

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 産婦人科 川崎彰子

⑦ 研究機関名および研究責任者名

主たる研究機関：聖マリアンナ医科大学産婦人科 研究責任者：鈴木直

研究協力機関：都道府県がん診療拠点病院（49 施設）

地域がん診療連携拠点病院（378 施設）

日本小児血液がん学会研究施設（107 施設）

日本産科婦人科学会専攻医指導施設（690 施設）

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されて

いる場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 利益相反

本研究は日本医療研究開発機構（AMED）の委託研究資金を利用して行われます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

電話 029-853-3073 FAX 029-853-3072 産婦人科ステーション

対応可能時間 平日9時～16時